

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
11	高橋 正典（21）	<p>1. オストメイトへの配慮について</p> <p>オストメイトになる方は、大腸がん、潰瘍性大腸炎、子宮内膜症、クローン病あるいは交通事故などの要因が挙げられる。</p> <p>また、2021年までのデータでは、オストメイトが全国で22万5000人に達し、過去10年間で3万6000人増加している。県別のオストメイトの増加率を見ると、本県では過去10年間に768人増加し、124.8%となっている。年齢別では、60代から増加が始まり22%を占め、70代が35%、80代が23%となっており、60歳以上の方が80%を占めている。</p> <p>こうした状況下、新聞報道によると県内の温浴施設やプールにおいて利用を拒否されたという事例が顕在化しており、オストメイトへの配慮が必要との思いから、以下質問する。</p> <p>(1) 本市におけるオストメイト、ウロメイトなどで障害者手帳を所持する方は何人になるか伺う。</p> <p>(2) 本市のふじかぐやの湯及び東部市民プラザなどの温浴施設において、入浴着を着用しての入浴は可能か伺う。</p> <p>(3) 砂山公園プールでは、入浴着等を着用しての利用は可能か伺う。</p> <p>2. 中学校の部活動の地域連携、地域移行について</p> <p>国のガイドラインに沿って、県から休日の部活動について、教員の負担軽減を図ることから地域移行を推進していくとする方針が示された。</p> <p>本市においても、昨年度から富士市立中学校部活動地域移行検討懇話会を開催し、議論の末に、自分のやりたいスポーツ競技や文化活動に取り組む、休日に部活動指導を望まない教員の負担を軽減する、地域のスポーツ活動、文化活動の活性化につなげるなどを柱にして、本年度は、市内に幾つか拠点を設け、生徒がやりたい活動ができる環境を整えるということである。</p> <p>この中学校の部活動の地域連携、あるいは地域移行について、以下質問する。</p> <p>(1) 本計画は、どのようなスケジュールになっているか伺う。</p> <p>(2) 中学校の体育の授業で武道が必修化されたと認識しているが、現在どのようになっているか伺う。</p> <p>(3) 中学校の部活動の地域連携、地域移行について、生徒や保護者に対してどのように周知しているか伺う。</p> <p>(4) 本市では、中学校の部活動の地域連携、地域移行において、ハンドボールがモデル事業の1つに選ばれたが、その経緯について伺う。</p>	市長 教育長 及び 担当部長